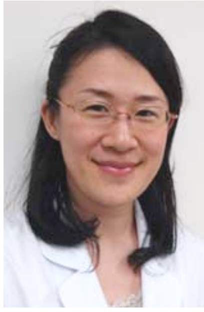
臨床家の声を訊け

講師リレー連載 第６回
はりきゅう実技担当
鍼の華 ゆう治療院 院長　　佐々木 友子 先生



学生のみなさん、将来の自分の治療家像をどのように思い描いていますか。

今の治療家、講師としての私があるのは、その時々に多大な影響をおよぼしてくださった多くの先生方がいらっしゃったからだと感謝しています。

幼少の頃、中耳炎の治療でお世話になった先生には、鍼灸専門学校に進学する時にも相談にのってもらいました。今でも帰省の際、治療に伺う地元の先生には、二度にわたるアキレス腱切断の際、術後治療にたいへんお世話になりました。その先生の治療が私の治療スタイルの基礎となっています。北京中医薬大学の先生方、鍼灸専門学校時代の恩師、臨床に出てからの師匠など。

中国医学の世界に飛び込んだ時、“一生勉強だ！”とその世界の広さと深さを強烈に実感したのですが、今治療家として患者様に向きあっていると治療のおもしろさと同時に難しさを痛感しています。異常気象や電磁波の影響やメンタル面での問題など、私たちを取り巻く環境は、ますます複雑で苛酷になってきています。治療するにあたり患者様の体だけを診るのではなく、その取り巻く環境をも考慮しなくてはなりません。“木を見て森を見ず”では中国医学でいう「天人合一思想」や「心身一如」の立場から離れてしまうわけです。

今、学生に教える立場となり、改めて古典文献などを深く読み込むことで、中国医学がどのようにして確立したのか、人間を取り巻く環境をふくめて身体全体の観察、そしてその上での治療を実践する大切さを改めて感じています。2000年以上続いてきた中国医学をどれだけ理解し、自分のものとし現代社会に適応させ、患者様に還元していけるかが、治療家としての私の課題です。

武道の教えの中に「守破離」という考えがあります。それは治療家にもあてはまります。「守」とは、師や各流派の教えを忠実に守り、それから外れることのないように精進して身につけよ、という意味。「破」とは、今まで学んで身につけた教えから一歩進めて他流の教え、技を取り入れることを心がけ、師から教えられたものにこだわらず、さらに心と技を発展させよ、という意味。「離」とは、破からさらに修行して、守にとらわれず破も意識せず、新しい世界を拓き、独自のものを生みだせ、という意味。まだまだ「守」から「破」に前進できない私ですが、「離」を目指して精進していきたいです。

学生のみなさん、自分がなりたい明確な鍼灸師像がありますか？　どんな環境、どんな患者様を相手に、どんな治療をしていますか？　もしぼんやりとしたイメージしかないという人は具体的に書き出してみてください。そうすれば自ずと何をすべきか明確になってきます。どんなに変化していってもいいと思います。変化は進化でもあるはずです。加油 ‼

陰盛陽衰

鍼灸師学科１年生担任　孫 杰

“陰盛陽衰”はもともと「陰気が強く陽気が不足していること」を意味する専門用語であったが、中国でいつのまにか社会現象を皮肉る流行語になった。その流行語が誕生する背景として1980年代のなかばごろ、中国スポーツ業界で女性陣が大活躍し、一連の世界試合で多数のメダルを獲得。輝かしい成績で国民の大歓声のなか帰国したことに対し、男性陣は人目を避けるぐらいで、ブーイング声のなかの帰国だった。そこから”陰盛陽衰”の流行語が大ブームになったわけである。1990 年代なかばの留学ブームのなか、私は日本へ留学の道を選び、十数年の年月を経てその流行語はまだ健在だろうか。北京に帰ったとき、久しぶりに親しい仲間との会合で、そのあたりの事情が再確認できた。自分が日本に渡るとき、政府のある部門の課長レベルにいた孟さんはすでに副大臣のポストについたが、ご主人は銀行の副総裁で、悪くはないが彼女に負けている。任さんは上海のあるグループ財団の副総裁に就任し、専用運転手付き。年収は旦那さんの３倍もある。あと２人は大学の教授と病院の部長をやっている。収入こそ旦那さんにおよばないが学術的な地位は高い…。今年３月、第５回伝統医学美容学術国際大会はマレーシアでおこなわれ、中国人女性の大活躍の場となっていた。会長をつとめていた何美華女氏はマレーシアの華僑で全国二十数店舗の美容エステを経営し、とても美しく品のある方である。大会中国側８人の発表者のうち６人が女性で、みな若く美人で堂々としていた。朝食のとき、中国中医業界の大物教授〔男性〕がいた。半分日本人になっている私は日本式にあいさつ程度で自分の席に戻ったが、気がついたらその大物教授は中国女性陣に囲まれ、会話がとても盛り上がっていた…。同じ中国人として、現在の中国人女性の活躍ぶり・積極性に対してやはり脱帽する。高度成長のどまんなかの中国では、“陽気”は活発になったが“陰気”も決して衰えていない。

左　第５回中医伝統美容学術大会会長　何美華女氏　抜群の美しさで参加者を魅了した

一番右　　劉 宜群 先生　中華中医薬学会美容分会 副会長
左から２人目　周 典 先生　上海中医薬大学中医美容研究室 部長
一番左　　北川 毅 先生　日本健康美容鍼灸教会 会長
右から２人目　孫 杰